# 平成28年度西脇市健康づくり推進協議会記録

平成28年10月14日（金）
午後１時30分～午後２時45分終了
茜が丘複合施設Miraie会議室1

１　開　会

司会　　：健康課長
出席委員：13名
職員　　：高田くらし安心部長、塩崎健康課長、西山保険医療課長、西村健康課主査、岡本健康課主査
欠席委員：２名
傍聴者　：０名

２　会長あいさつ

３　報告・協議（議事進行：会長）

⑴　健康づくり事業について
健康診査事業の現状について
・特定健診受診率推移、がん検診受診率推移
・町ぐるみ健診時におけるがん発見数
・歯周病検診について
・保健指導について
・平成27年度の取組
健康増進啓発ポスター募集事業
健康ポイント制度について

質問・意見なし

⑵　母子保健事業について
・妊娠・出産・子育て支援体系図について
・児童と乳幼児のふれあい交流事業
・食育セミナー（市制10周年記念事業）

（質問）

委　員　乳幼児とふれあい交流事業について素晴らしいと思う。年に何回行っているか
事務局　希望のある小学校に行う。各学校１回。
委　員　どういう形で子供さんを集めているか
事務局　子育て学習センターが募集を行う。
委　員　何人ぐらい来られるか
事務局　学校の規模にもよるが、10組から40組。

委　員　桜丘小学校でその事業を参観した。自分たちの時代では考えられない教育が行われていた。５年生が対象で、しっかり聞いていた。ストレートだなと感じた。時代がすばらしいことをするようになっている。感動した。いい勉強をさせてもらっていると思う。同じような内容を中学校３年生にされるのか。

事務局　ほぼ同じような内容で行う。

委　員　資料Ｐ15　妊婦は産科を受診していると思うが、妊婦訪問指導１名とはどういうものか。特別な事情のあるケースに訪問しているのか。

事務局　母子健康手帳交付の時に、体調や社会的な背景、家庭の様子などの面談の中で保健師がフォローの必要と判断したケースに訪問を行う。年度により数の変動があるが、産院から、出産に向けて準備が心配なケースや、家での生活がどうか見てほしいなど連絡があったケースについて出産の準備のこと、その後の生活について妊娠中から保健師が訪問してかかわっている。

委　員　資料Ｐ16　３か月児健診の精密検査５名の未受診者のフォローはどうしているか

事務局　重複して精密検査の必要なケースもある。未受診者には、電話や訪問して受診勧奨を行っている。

委　員　資料Ｐ17　１歳６か月児健診の未受診者への対応は？

事務局　健診未受診者には、電話や、翌月に再通知し、訪問を行い確認している。

⑶　地域医療を支える取り組みについて

・市民フォーラム

日時・場所

平成29年1月28日（土）午後1時30分～

西脇市民会館　大ホール

テーマ

「西脇で生きる！地域で支える医療と介護～認知症になっても～」

内容

《第１部》　中学生の作文発表

《第２部》　基調講演・シンポジウム

「地域包括」ケアシステムとは」
～認知症になっても安心して暮らしていくために、今私たちに求められていること～
講師　加東健康福祉事務所長　柿木達也先生

（報告・意見）

委　員　6年前から神戸大学に地域医療の教室があり、毎年地域医療シンポジウムを開催している。今年は明日、西脇病院を含めて地域医療の10年のあゆみについて発表行う。病院と地域医療を支える市民の会と、小児医療を守る会、地域フォーラムとみんなで西脇の医療を考えてきたことの発表。頑張っていると評価をいただいている。

委　員　オープン参加できるのか

委　員　大学・神戸近隣の方　医療関係者の方の参加が多い

委　員　大学のホームページにでるのか

委　員　1か月遅れて掲載される

委　員　今年度の1月28日の市民フォーラムは、加東健康福祉事務所長柿木先生の講演がある。大変ファンである。自分たちの将来行くべき道について。ぜひ聞きに来てほしい。

委　員　区長会などで周知している。

・地域医療を支える市民の会

市内の保育所・幼稚園をまわっている。いのちとからだのおはなしの紙芝居を行う。小さい時から自分の体は、自分で守っていこう。医者に診ていただくときに自分で言えるようになどの5項目について紙芝居を 15 分～20分行う。

今年度は、病院のこと、先生に対して、体のことについて川柳募集。病院フェスタで市民病院に掲示した。医療に対していろんな思いを知ることができた。

（質問）

委　員　市民の会のメンバーは何人おられるのか。

委　員　12人。今後増やしていきたい。

・小児医療を守る会

発足9年目。発足当時は、メンバーは仕事をしていなかったので活発だったが、子供が大きくなり当時の活動とは違ってきている。できるメンバーができることを行

っている。西脇市の地域医療の現状や、こどもさんの病気について、上手な医療のかかり方等伝えている。定期的に６月に西脇こども園の参観日。冬に子育て学習センターで０歳児のこどもを持つ親を対象に１～２回行う。声がかかれば勉強会に参加している。

健康課が行う「こんにちはあかちゃん訪問」の際に会が作成した「救急の受診の仕方」の冊子を配布してもらう。病院フェスタで小児科の先生と一緒にイベントを行いふふれあいの時間を持っている。今年度は、西脇病院ＮＩＣＵの前の壁面をかわいらしく四季折々に掲示を行う。医療スタッフに勉強会に参加した人から感謝を伝える「ありがとうメッセージ活動」募集し病院に届けている、

（質問）

委　員　メンバーは何人いるのか

委　員　42 人

委　員　平均年齢は

委　員　40 代

委　員　若い方と年長の方は何歳か

委　員　若い方で 20 代半ば　年長者は 50 代半ば

委　員　女性が多いか

委　員　母親の集まりだが、父親の協力がないとできない活動である。

⑷　新規事業について

・Ｂ型肝炎ワクチンの定期予防接種
・西脇市特定不妊治療費助成事業
・不育症治療費助成事業
・野村地区ヘルシークッキングスクール

（事務局等から上記内容についてスライドを使って説明）

⑸　意見交換

委　員　がんの発見数の５年間の数について　１回の検査でわかることは難しい。もう少し数は多いのではないか。

事務局　最終判断されたがんの確定の数をあげているが、精密検査の用紙を持参していないケースや、返信がかえってきていない場合があるのでもう少し数はあると思われる。

委　員　がんになる原因は
委　員　がん腫によりいろいろある。生活環境、遺伝子的なものなどある。たばこと肺がんのように確立されたものはある。原因にかかわらず早期発見が大切。検診が大切である。

委　員　ＤＮＡ解析は西脇病院で考えられるのか
委　員　今の段階では、病院が解析するのはコスト的、倫理的に難しい。乳がんは遺伝子を調べるとわかる。検査はがん腫によってはできるようになってきている。

委　員　胃がん健診について　来年度から予定しているＡＢＣ検診についての概要は？
事務局　最終決定ではない。ＡＢＣ検診は、町ぐるみ健診の中で、血液検査を実施し、ピロリ菌の抗体検査と、ペプシノゲンの値について検査をするもの。ＡＢＣ検査の血液検査とレントゲンの併用を検討している。がん検診はレントゲンでの判断が必要、ＡＢＣ検診はリスクをみるための検診。ＡＢＣ検診でリスクが低いからがん検診は必要ないというものではないので、そのような説明をどのようにしていくか検討が必要である。
委　員　明石市は血液検査のみと聞いているがそこまでは考えていないのか
事務局　がん検診の指針の中でレントゲン検査は残っている。一方では、胃カメラの導入もある。レントゲン検診の続行と、来年度ＡＢＣ検査を取り入れるかどうか検討していきたい。

委　員　カメラのカプセルを飲みこんで全身を診るものがある。
委　員　高額のお金がかかる。

委　員　受診率兵庫県は全国でも低い。画期的な受診率を上げる方法はないのか。
委　員　検診受診率１位は
事務局　上郡町
委　員　都会は受診率が低いのか
事務局　高いところ低いところとある。

委　員　ヘルシークッキングスクール事業はいい事業と思う。

平日の午前は若い世代はなかなか参加できない。若い時から食に気を付けることは大切なので幅広い年代が参加できる形を検討して欲しい。

若い人も参加できるように託児を設けるとか、週末や夜間の開催も検討してほしい。

委　員　スライドわかりやすい。資料は前日までに配布して欲しい。

４　閉会

事務局

今日のご意見を取り入れて来年度の予算を検討していきたい。健診を受けていただく、保健事業に多くの市民に参加していただくため、いろんな形で広報し、各団体にも声掛けをさせていただきたい。市民フォーラムについて、多くの参加をお願いしたい。